

## 令和2年度 学校運営連絡協議会実施報告書

### 1 組織

- (1) 東京都立上野高等学校 学校運営連絡協議会
- (2) 事務局の構成 主任教諭（総務主任兼務）＝事務局長、総務部員1名 計2名
- (3) 内部委員の構成  
学校長、副校長、経営企画室長、主幹教諭（教務主任兼務）、主幹教諭（生活指導主任兼務）、主幹教諭（進路指導主任兼務）、主幹教諭（総務主任兼務） 計7名
- (4) 協議委員の構成  
学校法人事業本部長、近隣中学校長、塾経営者、近隣寺院住職、近隣町会会長、同窓会副会長、PTA会長 計7名

### 2 令和2年度学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会（第1～3回）の開催日時、出席者、内容、その他  
コロナ感染防止の観点から本年度の学校運営連絡協議会はすべて文書開催とした。  
第1回 令和2年6月25日（金） 内部委員7名、協議委員5名  
協議委員委嘱、令和元年度学校運営連絡協議会実施報告、令和元年度学校経営計画報告、本校の現状と課題の説明、評価委員の選出  
  
第2回 令和2年11月26日（日） 内部委員7名、協議委員7名  
生徒による授業評価について、学校評価について、学校評価アンケート案検討、本校の教育活動についての現状分析とその対応  
  
第3回 令和2年2月9日（火） 内部委員7名、協議委員7名  
生徒による授業評価についての検証、学校評価アンケート結果報告、令和2年度教育活動報告
- (2) 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他  
評価委員については、広く評価について意見を伺う趣旨で、協議委員全員に兼務をお願いすることとした。

第1回 令和2年6月25日（金） 内部委員7名、協議委員7名  
評価委員の選出、学校評価の趣旨説明

第2回 令和2年11月26日（木） 内部委員7名、協議委員7名  
学校評価の基本方針の確認、昨年度の学校評価結果の分析・考察  
今年度の学校評価の実施に向けた検討

第3回 令和2年2月9日（火） 内部委員7名、協議委員7名  
学校評価アンケートの報告、次年度の学校評価の実施に向けた内容検討

### 3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

- (1) 学校評価の観点  
「学校に対する理解」「学校の意欲に対する評価」「学校の実践に対する評価」を観点の中心に置き、それぞれの観点について評価をお願いした。  
生徒用、保護者用、教職員用及び地域用のアンケート集計結果をそれぞれ別紙1～4に示す。
- (2) アンケート調査の実施時期・対象・規模

1月	生徒	931人	／	943人	（回収率	99%
12月	保護者	868人	／	943人	（回収率	92%
12月	教職員	67人	／	67人	（回収率	100%
1月	地域	58人	／	58人	（回収率	100%
- (3) 主な評価項目
  - ①生徒  
従来通り、学校運営1、学習指導2、生活指導2、進路指導2、特別活動1、部活動1、健康・安全に対する指導2、施設・設備2及び読書活動1に加え、今年度より学校満足度1の計15項目について、各々4段階で評価してもらった。

## ②保護者

従来通り、学校運営 2、学習指導 3、生活指導 2、進路指導 2、特別活動 1、部活動 1、健康・安全に対する指導 2、施設・設備 2 及び読書活動 1 に加え、今年度より学校満足度 1 の計 16 項目について、各々 4 段階で評価してもらった。

## ③教職員

学校運営 2、学習指導 2、生活指導 2、進路指導 2、特別活動 1、部活動 1、健康・安全に対する指導 2、施設・設備 2、読書活動 1 及びライフ・ワーク・バランス推進の計 16 項目について、各々 4 段階で評価してもらった。

## ④地域

学校運営 2、学習指導 1、生活指導 3、施設・設備 1 及び治安・防犯状況 1 計 8 項目について、各々 4 段階で評価してもらった。

### (4) 評価結果の概要

#### 生徒

- ・ 全学年において読書活動以外のほぼすべての項目で 8 割以上の生徒が肯定的な回答（「そう思う」「ややそう思う」）をしている。特に健康・安全に対する指導については全生徒の 9 割以上、特に 1 年生では 97% の生徒が、肯定的な回答をしており、コロナ禍における本校の感染防止の取り組みが生徒に浸透し、生徒の安心感を生んでいるものと張り合いを感じる。一方で、学習指導の応用力の向上については全学年とも 7 割と他の項目に比べて肯定感が低く、特に 2 年生では 54% と低くなっている。また、読書活動に関する項目について、どの学年も肯定的な回答をしている生徒は半数以下である。この傾向は以前から継続している。ただし、学年が上がるほど肯定的な回答の割合が増加しているため、本校での読書指導などの教育活動の成果が表れていると判断できる。

#### 保護者

- ・ 全項目において生徒よりも保護者の肯定的な回答の割合は低く、「わからない」という回答が多い。特に 1 年生の保護者が「わからない」という回答が多いのは、新型コロナウイルス感染予防のため新入生説明会や入学式、文化祭などが実施できなかったことが反映していると思われる。
- ・ 学校満足度についてはどの学年も 7 割以上が肯定的な回答をしている。特に健康・安全に対する指導についてはどの学年も 9 割近くが肯定的な回答をしており、全体的には本校の教育活動への理解が得られていると考察できる。

一方で、1 年生保護者は、学校運営の「保護者の意見等を受け入れようとしているか」、学習指導の応用力の向上、健康の「悩みを抱えた生徒への対応」の 3 項目については肯定的な回答が 50% に満たない。しかし、学年が進むにつれてその値は改善していることから、本校の取り組みを 1 年生の保護者により理解してもらうことが課題として見えてきた。

#### 教職員

- ・ 多くの項目で前年度よりも肯定的な回答の割合が下がっているのは、コロナ禍により休校や分散登校等で予定通りの教育活動が実施できなかったことの影響と考えられる。一方、施設・設備の修理や改善、読書や調べ学習等の指導、ライフ・ワーク・バランス推進の 3 項目についてはわずかながら前年度よりも肯定的な回答が増加している。

#### 地域

- ・ 保護者同様に「わからない」という回答が多く、学校運営の地域への発信については半数以上が否定的な回答であった。今後さらに地域への発信が必要であることが明らかである。しかし、「わからない」という回答を除けば、概ね本校の教育活動への理解は得られていると考察できる。

### (5) 評価結果の分析・考察

- ・ アンケート結果の分析から、①特に 1 学年保護者が学校の様子がわからず不安に感じていること、②応用力の向上について生徒・保護者とも実感できていないこと、③地域への発信が不足していることの 3 点が本校の課題であることがわかった。
- ・ 以上の結果を全教員で共有し、①は特に新 1 学年で、②は各教科で、③は生活指導部や総務部などで検討し、本校の教育活動の改善の一助としたい。

## 4 学校運営連絡協議会の成果と課題

### (1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

- ・ 学校全体が落ち着いてきている印象を多くの立場から感じる意見が多く寄せられた。
- ・ 一部の保護者の中には学校についてより詳しい情報提供を求める指摘・要望が存在する。生徒が学校の様子を保護者に正しく伝えていない場合の対応について考えるべきである。

### (2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

- ・近隣の住民・同窓会は、本校への期待が非常に大きく、以前と比べて様々な課題が改善しつつある本校の現状を喜びつつ、さらなる発展を願っていることを理解した。

5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項

(1) ①学校運営に関すること

本校の教育目標、学校運営方針と日々の教育実践との関連性が保護者に十分伝わるように引き続き努力していく。保護者会やPTA 総会、授業公開等を継続して実施し教育実践の内容を伝えていく。

②学習指導に関すること

模試分析会、共通テストの問題分析などの研修を校内で行い、授業改善を図ってきた。今後は、これまでの取り組みを精査・充実し、生徒にとってわかりやすくこれまで以上に学力が身に付く授業づくりに取り組んでいく。また、家庭学習も含めて個々の学習状況に応じたきめ細かな指導の充実も図っていく。今後も、保護者との連携を強化し、家庭学習、学習習慣の確立に努めていく。

③生活指導に関すること

生徒が安心して学校生活をおくれるよう、いじめや暴力行為が発生しないよう実態把握（アンケートの実施）や対応策を組織的に推進している。また、遅刻指導や身だしなみ指導など社会人として基礎となる力を身に付ける様、継続的な指導を実施していく。今後も明確な指導方針を示し、指導の充実を図る。

④進路指導に関すること

感染防止対策を講じたうえで三者面談期間の時期や実施方法などこれからも工夫していく。今後も、進路指導計画に関する説明を丁寧に行い、保護者とともに、生徒の進路希望の形成と実現に向けた取組を強化する。本校の進路指導では、大学への進学指導のみならず、キャリア教育を推進し、生徒が人生設計に基づき、進路実現に向け積極的に取り組めるよう系統的な指導を行っていく。

⑤部活動・特別活動に関すること

部活動や学校行事をホームページに掲載するなど生徒の活躍を発信してきたが、今後さらに充実させる。ホームルーム活動については内容が多岐に亘るので内容ごとに明確な目標を設定するなど効果的な学習法を目指す。部活動・学校行事については、人間性を向上させるためになお一層力を入れて取り組む。

⑥健康・安全に対する指導に関すること

学校安全計画に基づき、セーフティ教室、宿泊防災訓練、保健便りによる啓発活動などを行っている。多様化する生徒へのきめ細やかな対応、支援は、スクールカウンセラーを中心として組織的に迅速に対応している。今後も、職員個々の教育相談に関するスキルの向上をめざし、校内研修を実施する。また、生命の尊重や健康安全に対する意識を高めるための取組は恒常的に実施する必要があることから、昨年度から継続している取組を検証しながら、より実践的な避難訓練など危機管理意識が向上できる取組を推進する。

⑦施設・設備に関すること

学校施設・設備全体は老朽化が否めないが、日頃の清掃活動や速やかなメンテナンスにより、整備に努めている。雨漏りの修理、外壁補修、トイレの一部改修（洋式化や扉）などを行った。老朽化の部分で大規模な工事が必要なものについては中・長期的な視野で検討していく。

⑧読書活動に関すること

今年度は書評合戦（ビブリオバトル）へ参加できなかった。今後はさらに、学校図書館を利用しやすくするためのレイアウトの工夫や生徒の興味・関心を高めるためのコーナーの設置等の整備に努める。

6 「学校がよくなった」と考える協議委員の割合

①協議委員 7 人

②学校がよくなったと答えた協議委員の人数

そう思う	多少そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	無回答
7						0

7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

【実績】 職員会議 0回 延0人 企画調整会議 0回 延0人

8 その他

- ・ アンケート項目の精選、表現の工夫、質問意図の明確化をさらに進めていく。
- ・ 自由意見欄の記述は参考になる意見が多かった。